

第75回 仏教公開講座

生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2010年9月20日(月・祝) 午後6時30分～8時30分	
講 師	狐野 秀存 氏(大谷専修学院長)	
講 題	『親鸞聖人の教え』	
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈(同朋奉讃式)
	6時45分	講 義
	8時15分	質問の時間
	8時30分	恩徳讃・閉会



講師紹介

講師紹介 狐野 秀存(この しゅうぞん)
1948(昭和23)年、石川県生まれ。
日本大学中退。大谷専修学院卒業。
紙卸問屋、建材店勤務。
大谷専修学院勤務、現在に至る。
著書に、『シリーズ親鸞』第三巻 釈尊から親鸞へ一七祖の伝統―(筑摩書房)、
他

先生からのメッセージ

親鸞聖人の教えを正しく受けとることが一番大切なことです。「現生正定聚(げんしょうしょうじょうじゅ)」。これが親鸞聖人の教えの要の中の要です。信心からはじまる生活を明らかにするのが浄土真宗です。

「浄土へ往生するということは、ここで生きられるようになったということです。」
(竹中智秀師)―このことひとつがはっきりすればいいのです。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」お電話ください。Tel.058-265-0033